

「ペットの供養」考えている人は7割超

～飼い犬の月のエサ代は？ エサはどこで買う？～

国内1,500社超が利用する日用品流通の情報基盤を運営する株式会社プラネット（所在地：東京都港区、代表取締役社長：坂田政一）は消費財や暮らしにまつわるトピックスをお届けする『Fromプラネット』の第237号として、ペット(犬)に関する意識調査(対象4,000人)の結果をご紹介します。未掲載のデータ提供や当社担当者が解説を差し上げることがもできますので、お気軽にお問い合わせください。

※回答率(%)は小数点第2位以下を四捨五入し同第1位までを表示しています。そのため、内訳の合計と表示値が異なる場合があります。

■ 犬派か猫派か、年齢により差があるもよう

今回はペット、特に犬に関する意識調査を実施しました。(前回は Vol.178「ペット(犬)」として、2022年3月に調査を実施。また、Vol.216では「ペット(猫)」として23年12月に調査。)

まず、犬派か猫派かを聞くと(図表1)、「犬派」が31.1%、「猫派」が20.2%、「どちらも同じくらい好き」が21.1%でした。

「犬派」と回答した人は、男女ともに年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向があり、逆に「猫派」と回答した人は、年齢が低くなるほど割合が高い傾向があります。

図表1 「あなたは犬派か猫派か、あてはまるものを教えてください。」への回答

	全体(人)	犬派	どちらも同じくらい好き	猫派	どちらもでない※	犬+同じくらい好き	猫+同じくらい好き
全体	4000	31.1%	21.2%	20.2%	27.5%	52.3%	41.4%
男性	20代	159	23.3%	13.2%	27.7%	35.8%	40.9%
	30代	73	19.2%	26.0%	20.5%	34.2%	46.6%
	40代	251	26.3%	16.7%	21.9%	35.1%	38.6%
	50代	473	29.8%	22.0%	22.8%	25.4%	44.8%
	60代	569	34.1%	19.7%	17.4%	28.8%	37.1%
70代以上	475	35.8%	20.8%	11.6%	31.8%	32.4%	
女性	20代	159	25.2%	25.2%	25.8%	23.9%	50.9%
	30代	208	28.8%	22.6%	22.1%	26.4%	44.7%
	40代	432	29.4%	22.9%	21.8%	25.9%	44.7%
	50代	541	29.9%	22.7%	25.0%	22.4%	47.7%
	60代	417	35.5%	23.6%	19.9%	24.0%	40.5%
	70代以上	243	34.2%	23.0%	14.0%	28.8%	37.0%

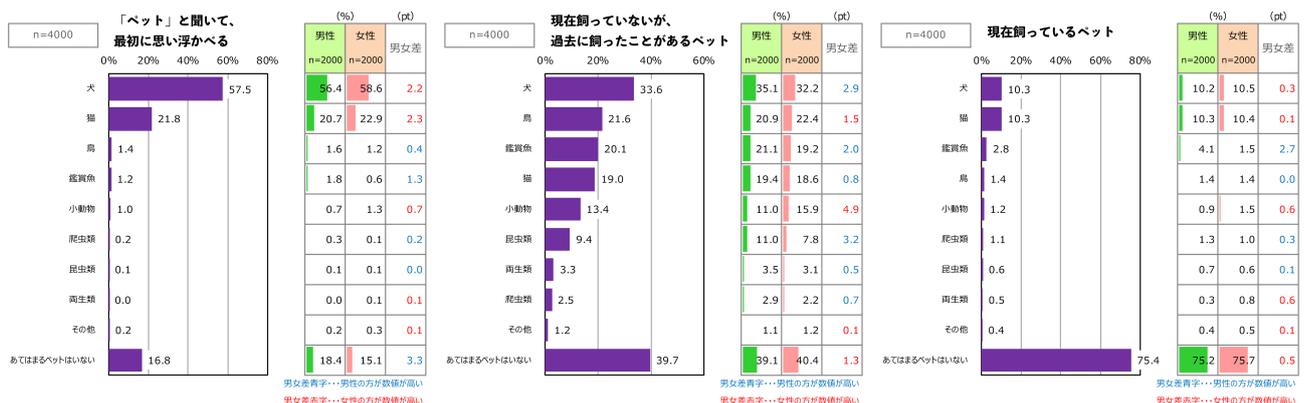
※どちらも好きでない・興味がない等

■ 実際に飼っているのは？

①「ペット」と聞いて、最初に思い浮かべるペット②現在飼っていないが、過去に飼ったことがあるペット③現在飼っているペットを聞きました(図表2)。

「ペット」と聞いて、最初に思い浮かべるペット、現在飼っていないが、過去に飼ったことがあるペットについては、どちらも犬のほうが猫より割合が高くなっていますが、現在飼っているペットについては、犬も猫も、どちらも10.3%と同じ割合になりました。

図表2 ①「ペット」と聞いて、最初に思い浮かべるペット(お答えは1つ)、②現在飼っていないが、過去に飼ったことがあるペット(お答えはいくつでも)、③現在飼っているペット(お答えはいくつでも)への回答



■ 飼い犬の食費、5,000円台以下が約7割

次に、現在、犬を飼っている人を対象に、普段、どのような食事を与えているかを聞きました(図表3)。

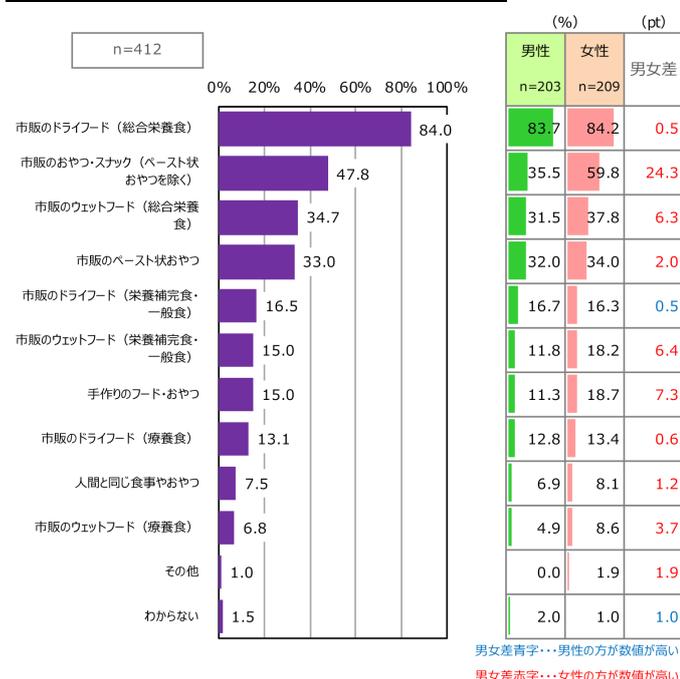
最も割合が高いのは「市販のドライフード(総合栄養食)」の84.0%でした。そのあとは「市販のおやつ・スナック(ペースト状おやつを除く)」(47.8%)、「市販のウェットフード(総合栄養食)」(34.7%)、「市販のペースト状おやつ」(33.0%)と続きます。

「手作りのフード・おやつ」(15.0%)、「人間と同じ食事やおやつ」(7.5%)はあまり割合が高くなく、市販のものを与えている人が大半のようです。

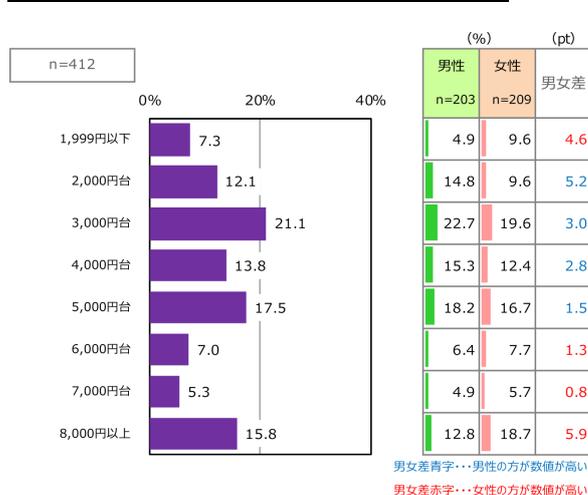
また、飼い犬の食事代を聞くと(図表4)、最も割合が高いのは「3,000円台」(21.1%)で、次いで「5,000円台」(17.5%)でした。「5,000円台」以下を合計すると、67.9%と、約7割になります。

一方で、「8,000円以上」という人も15.8%いました。今回の調査では、「1頭当たり」の食費を聞いたわけではないので、多頭飼いをしている、頭数に応じて食費が高くなっている可能性もあります。

図表3 「あなたは飼い犬にどのような食事を与えていますか。あてはまるものをすべて教えてください。(お答えはいくつでも)」への回答



図表4 「あなたは飼い犬の食事に月いくらくらい使っていますか。一番近いものを教えてください。(お答えは1つ)」への回答



■ ペットの食事に配慮している？

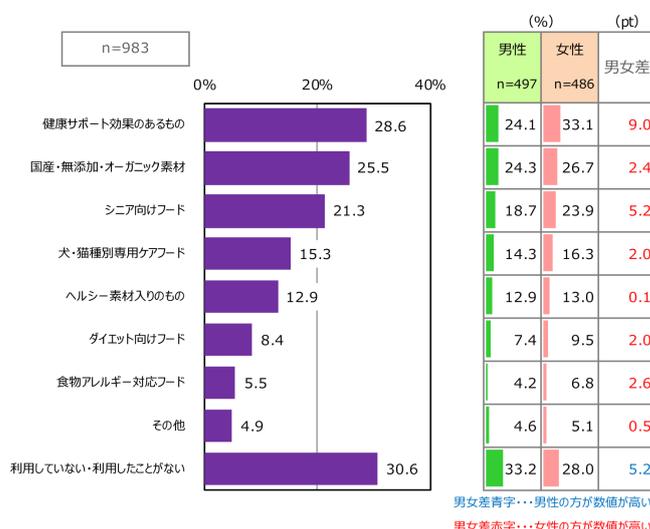
犬に限らずペットを飼っている人に、ペットの健康に配慮したペットフードを利用しているか、利用したことがあるかを聞くと(図表5)、「利用していない・使用したことがない」人が30.6%でした。

使用しているもの・利用したことがあるもののうち、最も割合が高かったのは「健康サポート効果のあるもの」(28.6%)でした。

2位は「国産・無添加・オーガニック素材」(25.5%)で、効用だけでなく、素材について意識している人も少なくないようです。

3位は「シニア向けフード」(21.3%)。高齢のペットを飼っている人がそれなりにいることが伺われます。

図表5 「お宅では、ペットの健康に配慮したペットフードを利用していますか、または利用したことがありますか。(お答えはいくつでも)」への回答



■ ペットの食事やグッズ、購入先はホームセンターが最多

犬を飼っている人を対象に、犬の食事やグッズをどこで購入しているかを聞きました(図表6)。

食事(52.4%)、グッズ(49.5%)ともに、最も割合が高かったのは「ホームセンター」でした。

ペットショップやペット用品店よりもホームセンターが上位に来ているのは、ペット関連のもの以外と合わせた「ついで買い」が多いことや、店舗数の多さが関係しているのかもしれません。

2位以下は順番が異なっていて、食事の場合は「ネット通販」(38.6%)、「ペットショップ」(35.7%)、「スーパー」(25.0%)、「ペット用品店」(17.0%)と続きます。

グッズについては「ペットショップ」(39.8%)、「ネット通販」(34.7%)、「ペット用品店」(26.9%)、「スーパー」(14.3%)の順です。

グッズについて、食事と比べてペットショップやペット用品店の割合が高くなっているのは、取扱商品のバラエティを期待していたり、現物を確認して購入したいと考えていたりすることの表れでしょうか。

どちらの項目についても、「ネット通販」に関しては、女性のほうが15ポイント近く高い割合になっています。逆に「ホームセンター」や「スーパー」では男性のほうが割合が高いです。

家族でペットを飼っている場合、ネットで注文する担当は女性、実店舗で購入するのは男性、というように、役割分担をしているのかもしれません。

■ ペットの供養はどうする？

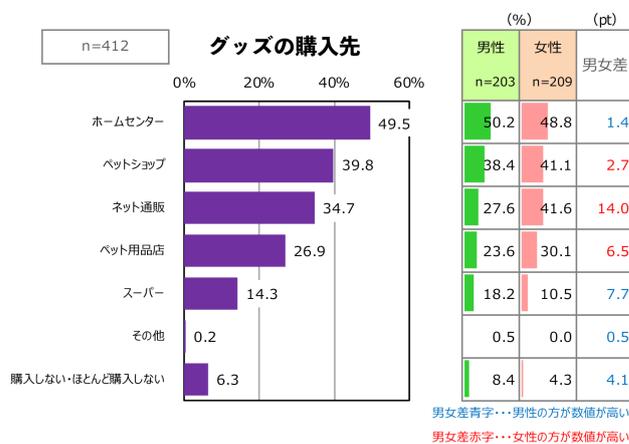
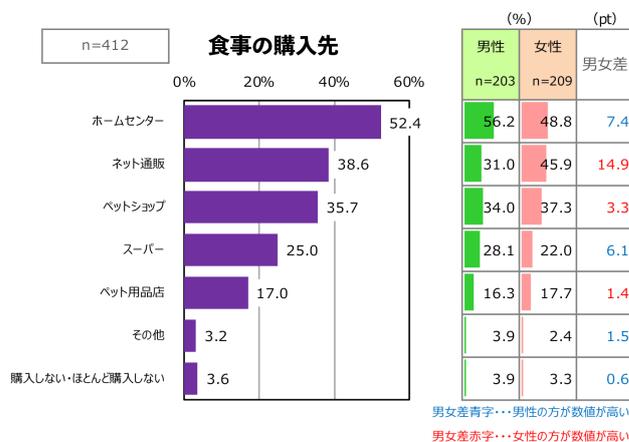
現在、ペットを飼っている人を対象に、ペットが亡くなった際の供養について考えているかを聞いたところ(図表7)、「考えている供養はない」という人は25.4%で、残りの約3/4の人たちは何らかの供養を考えています。

供養のなかで最も割合が高かったのが「家族立会での個別ペット火葬」(24.8%)、次いで、「自宅での土葬」(17.9%)でした。

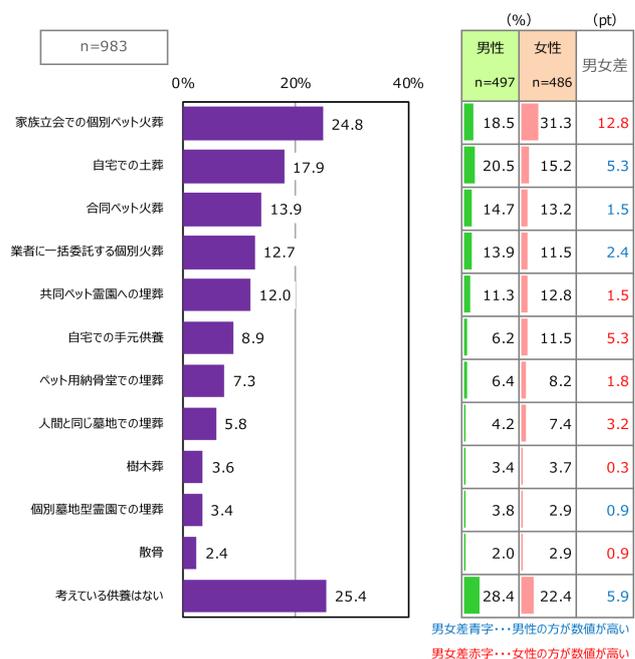
ペットの種類や大きさ、あるいは戸建てや持ち家ではないなど、そもそも土葬が非現実的な場合もあるでしょうが、ペットの火葬がかなり普及していて、自分のペットも火葬することを考えている人がかなり多いことが伺えます。

また、火葬後に、ペット霊園や納骨堂へ納めることを考えている人もそれなりの割合です。

図表6 「あなたは犬の食事やグッズをどこで購入しますか。それぞれについて教えてください。(お答えはいくつでも)」への回答



図表7 「あなたのペットが亡くなった際の供養について、考えている方法があれば教えてください。(お答えはいくつでも)」への回答



■ ペットと暮らす喜びと不安

ペットを飼ってよかったことや、ペットとの思い出、悩みなど、自由回答で教えてもらいました。ペットを飼っている人、飼ったことがある人にとって、いい思い出も大変だった思い出も、大事な記憶になっているようです。また、災害時の対応や、自分の年齢を考えてペットとの付き合い方に悩む人もいました。

《ペットを飼ってよかったこと、ペットとの思い出や悩み》

【犬や猫だけじゃない】

- うさぎを飼っていたが、癒やして散歩に行くのが楽しかった。うさぎにハーネスをつけて遊ばせていたら、通りかかった人に二度見されたのが面白かった。(女性・30代)
- 子どもの頃は、家に犬や猫、ヤギ、牛などがいて楽しかった。(男性・70代以上)
- グッピーのお産は感動的だった。(男性・70代以上)
- かつて、宇宙一可愛い文鳥と過ごせて幸せでした。(女性・30代)
- ハリネズミを飼っているが、飼いやすいし癒される。ハムスターと同じように夜行性で夜に回し車を使う。ほとんど気付かずに寝ているが、時々気になることもある。(女性・30代)

【家族の一員だった】

- 母子家庭で育ったので、家族のように接して、生活の一部になっていた。(男性・50代)
- 子どもがいなかったので、ペットが子の役割を果たしてくれて、夫婦円満の支えになってくれました。(女性・70代以上)
- 子どもがひとりっ子なので、留守番やさみしい思いをさせないためもあり13年くらい飼っていた。病気で長く生きられなかったのを悔やんでいる。(女性・60代)
- 毎日の世話は大変だけど、そこにいてくれるだけで幸せだったし、自宅で帰りを待っていてくれることが、日々の生活の張り合いになった。もともと野良だったあの猫との思い出は忘れられない。(男性・50代)

【生き物を飼うことで学ぶことがある】

- 観賞魚を飼っているが、家族のちょっとした癒しになっているだけでなく、子ども達が生き物に対して優しい気持ちを持つようになった。(女性・30代)
- 母が「命の大切さを学んでほしい」と、ハムスターを飼ったことがあった。小学生ながら生き物の死に直面したのは貴重な経験。(女性・20代)
- 散歩はめんどくさいと思ったが、20代の頃に中型犬を飼ったことで、子育てと介護の基礎を学んだ気がする。(女性・60代)

【災害時にどうなるか心配】

- うさぎと暮らして5年。いつも黙って寄り添ってくれて、つらいときには本当に支えになりました。だけど災害時、避難生活となったときに守りきれぬかどうか不安です。(女性・20代)
- 魚を飼っていたが、災害時に連れていけないため、何か起きた時どうしようという不安が常にあった。(女性・20代)

【自分の年齢を考えると……】

- ペット可物件ではあるが、子どものいない夫婦世帯で60代を迎えたので、健康問題もあり終生世話をできる自信がない。以前は小鳥を飼っていたが、病気の治療にかなりの時間と費用がかかったので、年金暮らしでペットを飼うのは経済的不安もある。(女性・60代)
- ひとり暮らしになっても、ネコと一緒にいることで寂しさがまぎらわされた。そのネコが死んだときは一緒に行こうと思うほどつらかった。離れて暮らす子ども達の事を思って、踏みとどまり、保護センターから新たにネコを譲り受けた。私が死んだとき、この2匹のネコがどうなるのかだけが心配。(女性・70代以上)

《 「ペット (犬)」に関する意識調査 質問一覧 》

- 【クロス集計用】 あなたは犬派か猫派か、あてはまるものを教えてください。
- Q1.「ペット」と聞いて、最初に思い浮かべるペット（お答えは1つ）、現在飼っているペット（お答えはいくつでも）、現在飼っていないが、過去に飼ったことがあるペット（お答えはいくつでも）、現在飼っていないが、将来飼いたい・飼ってみたいペット（過去に飼ったことがある・なしにかかわらず）（お答えはいくつでも）
- Q2.あなたが犬を飼い始めたきっかけを教えてください。（お答えはいくつでも）
- Q3.あなたが飼っている犬の年齢を教えてください。複数飼っている場合は、一番年長の犬の年齢を教えてください。（お答えは1つ）
- Q4.あなたは飼い犬にどのような食事を与えていますか。あてはまるものをすべて教えてください。（お答えはいくつでも）
- Q5.あなたは飼い犬の食事に月いくらくらい使っていますか。一番近いものを教えてください。（お答えは1つ）
- Q6.お宅では、ペットの健康に配慮したペットフードを利用していますか、または利用したことがありますか。（お答えはいくつでも）
- Q7.現在飼っている犬のために、購入したものを教えてください。（お答えはいくつでも）
- Q8.あなたは犬の食事やグッズをどこで購入しますか。それぞれについて教えてください。（お答えはいくつでも）
- Q9.あなたのペットが亡くなった際の供養について、考えている方法があれば教えてください。（お答えはいくつでも）
- Q10.あなたが犬を飼わない理由、または現在飼っていない理由を教えてください。（お答えはいくつでも）
- Q11.ペットを飼ってよかったこと、ペットとの思い出や悩みなどがあれば自由にお書きください。（自由回答）

調査機関：株式会社プラネットによる調査企画をもとに、株式会社ネオマーケティングにて「ペット (犬)」に関する意識調査を実施。

期間：2025年8月26日～8月28日、インターネットで4,000人から回答を得ています。

株式会社プラネットとは <https://www.planet-van.co.jp/>

メーカー、卸売業、小売業がサプライチェーンとして連携し、生活者へのサービス向上を目指して進化を続ける日本の消費財流通を、情報インフラ運営で支えている上場企業(証券コード2391)です。

From プラネットとは https://www.planet-van.co.jp/news/from_planet.html (バックナンバーもご覧になれます)

株式会社プラネットが発信しているニュースレターです。消費財や暮らしに関する旬なトピックスなどをご紹介します。

本件に関するお問い合わせ先

今リリースに掲載していない結果や属性データのご紹介や、当社担当者が解説を差し上げることもできます。

株式会社プラネット 経営管理ユニット

E-mail : koho-pr@planet-van.co.jp